

日本の課題は「人的資本の未活用」

人口減少下の日本では人的資本の活用効率の低さが課題。未活用となっている人材として、女性人材、中途人材、高度人材が挙げられるが、特に女性人材の活用は最も大きな潜在成長要因。

女性のスキルの未活用

OECDのPIAACデータを用いた研究 (Kawaguchi and Toriyabe, 2022) によると

- ・ 日本女性のスキルは世界トップ水準
- ・ しかし職場でのスキル使用は先進国で最低水準

女性人材の活用は成長戦略

- ・ 人材配置の最適化は経済成長の重要な要因
- ・ 米国では成長の20～40%が人材配置改善による (Hsieh et al., 2019)

未活用を生む労働市場構造

- ① 女性の非正規率 50%以上: スキルと職務のミスマッチ
- ② 出産・育児・介護によるキャリア断絶: 正規職からの離脱や「チャイルドペナルティ」
- ③ 長時間労働・転勤前提の雇用: 「柔軟性」のある構造の重要性 (Goldin, 2014)

労働市場改革の方向性

- ① 柔軟な働き方の拡充、再雇用・休職制度の整備によるキャリアの継続性確保
- ② 長時間労働の是正、転勤を前提とする雇用の見直し
- ③ 就業調整を誘発する制度の是正 (配偶者控除、第3号被保険者制度)